



東近江市民クラブ

歴史文化を観光へ活用

浅居 笑



Q 本市の歴史的な地域資源を生かした観光戦略の取り組みは。

A 本市は約1万3千年前の縄文時代草創期から古代、中世、近代に至るまで、日本の歴史に度々登場する地域であり、歴史的な題材に恵まれているものの、この観光素材を十分に生かし切れていないと認識しています。このため、観光インフラのさらなる充実や観光案内の強化、SNSでのきめ細やかな情報発信などを行い、観光政策を強化しているところです。

Q 次代の本市を担う職員の確保について、

①技術職員確保に向けた方策は。
②本市のカスタマーハラスメントの実態と対策は。

A ①募集年齢や受験資格の緩和、市の広報紙やホームページ、就職情報サイトなどへの募集案内の掲載、専門学科を有する高校や大学への訪問などの取り組みを進めています。

また、今年度から官公庁・自治体専用求人サイトを活用しており、ブログやYouTube動画を掲載し、技術職員の仕事内容をイメージしてもらえよう発信をしています。

②一部の部署から相当する事案の報告を受けています。カスタムに対しては、職員を守るため組織として対応するとともに警察と連携するなど毅然とした対応を行っています。



百済寺織田信長朱印状



東近江市民クラブ

バイパス整備に期待

澤居 寛明



Q 国道8号の御幸橋から築瀬交差点では慢性的な渋滞が発生しているが、国道8号バイパス建設とアクセス道路整備について、

①本市では沿線他市町にさきがけ国道8号バイパス計画予定地において地籍調査を実施しているが、地籍調査により工事着手が早まる可能性はあるのか。国はどのような基準で整備区間の優先順位を決めているのか。また、市は国に対し早期着工を要望しているのか。

②市内の国道8号バイパスへのアクセス道路の整備計画は。

A ①国の道路整備の考え方は「一般的に現道に課題が多い箇所や事業効果が高いところから先行整備することが多い。いずれにせよ地籍調査を含め、用地の協力が不可欠である」との回答がありました。また、市内では愛知川を渡河する橋梁が少ないことから、南清水町・五個荘奥町間の橋梁部分を優先して整備するよう要望しています。



市内の道幅が狭い県道



東近江市民クラブ

保護と活用・新たな発想で

青山 孝司



Q 湖東地域のランドマーク的施設である西堀榮三郎記念探検の殿堂と旧湖東歴史民俗資料館について、

①デジタルアーカイブ館として利用を進めていく西堀榮三郎記念探検の殿堂の今後の展望は。
②旧湖東歴史民俗資料館を地域の伝統・文化とともに一体として活用していくべきと考えるが見解は。

A ①東近江市博物館構想では、記録や資料などをまとめて保存するアーカイブ館を設置し、各博物館資料の集約を目指しています。西堀榮三郎記念探検の殿堂をアーカイブ館として機能させることで、各館の資料をデジタルで見せる仕組みやインターネット上で閲覧や利用ができる機能などについても検討を進めています。

また、資料をデジタル化することは、災害などに備えて資料の保存のバックアップ機能を果たすことにもなります。



湖東ゆかりの探検家 西堀榮三郎

とにかく、
やってみなはれ

Q 中山間地域等直接支払制度について、

①対象を拡大する狙いは。
②新たに対象となる地区は。

A ①これまで傾斜が20分の1以上の急傾斜地を対象としていましたが、新たに傾斜が50分の1以上の緩傾斜地に対象範囲を拡大します。平地に比べて傾斜がきつく、草刈り作業などの負担が多いことから、支援を拡大することで多面的機能の維持を目指すものです。

②愛東地区の園町、大林町、上中野町、下中野町、百済寺本町および小倉町の6集落の一部です。

Q あいとうマーガレットステーションについて、

①重点道の駅選定後の実績は。
②今後の計画は。

A ①令和3年度に「整備計画検討委員会」を設け、既存施設の課題や今後の整備方針を検討し、併せて先進地事例調査を進



傾斜地の草刈りは大変

めました。4年度は、先行して妊婦向け屋根付き優先駐車スペースの設置を行い、5年度には、導入する機能や施設、事業規模および必要経費を基に複数のプランを考えた基本計画を策定し検討してきました。

②基本計画を基に引き続き関係機関や地域の協力をいただきながら、実現に向けて進めていきたいと考えています。



東近江市民クラブ

中山間地域の農地・農村を守れ

山本 直彦

